

中期経営目標シート

| 1. 団体の基本情報 | | | | | |
|--------------------|--|-----------|-------------|-------|-------|
| 団体名 | (公財)福岡県水源の森基金 | 設立年月日 | 昭和54年10月1日 | | |
| 所在地 | 福岡市中央区天神3丁目14番31号 | 代表者名 | 理事長 岡本 光司 | 区分 | 県OB |
| 出資総額 | 1,203,000千円 | 県出資額 | 1,202,250千円 | 県出資割合 | 99.9% |
| 設立目的等 | 森林の造成整備、緑の募金、林業の担い手の育成・確保及び水源地域の振興に関する事業を行い、森林の水源かん養機能の向上、県土の保全及び県民の緑化意識の高揚並びに林業の振興及び水資源の開発と確保に寄与することを目的とする。 | | | | |
| 団体独自の経営計画(目標)の策定有無 | 策定状況 | 計画(目標)の名称 | | 策定年月日 | 計画期間 |
| | 無 | | | | |

| 2. 主要事業の内容 | |
|----------------------------|--|
| 事業名 | 事業内容 |
| 水源の森事業 | 森林の持つ水源かん養機能を高め、水資源の確保と林業の振興に資することを目的に、水源の森に指定した森林で行われる造林、下刈、鳥獣害防止施設等整備の森林造成整備事業に対し助成を行うほか、森林の重要性を普及啓発する活動等を実施。 |
| 森林の担い手対策事業・林業労働力確保支援センター事業 | 林業労働の担い手を安定的に確保するため、社会保険等加入促進事業、安全性向上対策事業及び振動障害対策事業を実施。また、林業の現場技能者を育成するため林業の基本的な知識・技能を習得する研修、雇用管理改善に関する支援、相談・指導、情報収集提供及び林業経営体研修等を実施。 |
| 緑の募金事業 | 緑の募金法に基づく募金運動の実施により緑化意識の高揚を図るとともに、寄せられた募金により地域の緑づくりや緑の少年団活動に対する助成等を実施。 |
| 水源地域振興事業 | 水資源の安定確保のため上下流域の相互理解の促進等に係る経費への助成を実施。 |

| 3. 団体の役職員数 | | | | | | |
|------------|----------------|-----|-----|-----|----|-----|
| | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| 常勤役員数 | 2名 | 2名 | 2名 | 2名 | 2名 | 2名 |
| 職員数 | 常勤(正規) | 2名 | 2名 | 2名 | 1名 | 1名 |
| | うちプロパー | - | - | - | - | - |
| | 嘱託(常勤・非常勤)等・臨時 | 8名 | 8名 | 8名 | 8名 | 9名 |
| | 合計 | 10名 | 10名 | 10名 | 9名 | 10名 |

| 4. 団体の経営状況 | | | | | | |
|--------------------------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| 損益計算書 (正味財産増減 計算書) | 経常収益 | 320 | 274 | 305 | 243 | 288 |
| | 経常損益(経常増減額) | △ 4 | 0 | 2 | △ 3 | 3 |
| | 当期純損益(当期正味財産増減) | △ 165 | △ 115 | △ 139 | △ 94 | △ 125 |
| 貸借対照表 | 資産 | 4,216 | 4,102 | 3,978 | 3,869 | 3,749 |
| | 負債 | 82 | 83 | 98 | 83 | 89 |
| | 純資産(正味財産) | 4,134 | 4,019 | 3,880 | 3,786 | 3,660 |

(単位:百万円)

| 5. 県関与の状況 | | | | | | | |
|------------------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 人的支援 (常勤役員再掲) | H28.4.1 | H29.4.1 | H30.4.1 | H31.4.1 | R2.4.1 | R3.4.1 | R4.4.1 |
| | 県派遣 | - | - | - | - | - | - |
| | 県OB | 4名 | 4名 | 4名 | 3名 | 3名 | 5名 |
| 財政支出 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | |
| | 出資金 | - | - | - | - | - | |
| | 貸付金 | - | - | - | - | - | |
| | 補助金・負担金 | 18,017千円 | 17,978千円 | 17,900千円 | 17,552千円 | 18,095千円 | 47,648千円 |
| | 委託料 | - | - | 778千円 | 858千円 | 16,149千円 | 18,119千円 |

| 6. 中期経営目標における改善目標の達成状況(H29~R3) | | | |
|--------------------------------|--|--|------|
| 改善に向けた取り組みの方向性 | | 公益財団法人としての自覚の下に、事業の検証と見直しを行い、公益目的事業の効果的・効率的な推進を図るとともに、的確かつ安全な資産運用による安定的な収益確保により、堅実な組織運営に努めていく。 | |
| 改善目標の区分 | 目標達成に向けた具体的な取組、戦略等 | 達成状況、取り組み状況等 | 自己評価 |
| 事業活動・住民サービス | ①水源の森を「緑のダム」として十分に機能させるため、森林整備事業を推進 | 第9期「水源の森事業5ヵ年計画」(R1~R5)を策定して、補助対象事業の絞り込み及び新たな目標値を設置し、これを達成した。(造林・下刈り:計画1,030ha→実績1,626ha) | A |
| | ②林業の担い手確保のため、新規就業者確保と現場技能者の育成 | 認定事業体を直接訪問して「緑の雇用」現場技能者育成研修への参加を促し、計画の受講生数を上回った。(計画50人→実績61人) | A |
| 財務会計 | ①低金利の債権市場において、運用資金が減少していく中、有価証券の適確な切り替え等により一定の運用利率を確保する。 | 安全性を第一に有価証券は全て公債等で運用し、低金利状況に歯止めがかからない中、発行情報の収集に努め、目標利率を達成した。(計画1.17%→実績1.25%) | A |
| | ③コスト削減を図り、安定した財政基盤を確立する。 | 日頃から業務の効率化、経費縮減に努めた。県財政支出率及び人件費率が目標額を上回ったのは、県と連携して林業労働力確保に係る事業を拡充したためであり、事業の運営基盤確立に寄与した。(人件費率:計画18.6%→実績22.8%、県財政支出率:計画5.8%→23.5%) | A |
| 内部管理 | ②人事評価制度の導入 | 当基金の組織及び職員属性を踏まえたマニュアルを作成し、令和3年度に試行実施した。(令和4年度から本格実施予定) | A |

A 達成されている。概ね達成されている。

※自己評価分類: B 新型コロナウイルス感染症の影響により達成できなかった。

C 目標が達成できなかった。(Bを除く)

7. これまでの取り組みの総合評価

森林整備事業については、平成30年度末に森林・林業の現状を踏まえた第9期「水源の森基金5ヵ年計画」を策定し、県と連携して補助対象事業の重点化(絞り込み)を行っており、同計画に掲げる事業量を達成した。
 「緑の雇用」現場技能者研修生数については、計画値を上回っており成果を上げた。
 「緑の募金事業」については、目標募金額には届かなかったものの、積極的な協力要請等を行い、全国的には高い水準を維持している。財務、内部管理においても、適正、効果、効率の観点から必要な対応を進めた。
 以上、各指標については一定の成果を出すことができおり、今後も県と連携しながら、適切な改善に向けて努力していく。

8. 改善目標

| 団体を取り巻く環境 (R4~R8) | | 国際情勢が不安定な中、国産材の安定供給が求められているが、林業経営の厳しさ及び担い手不足の状況は続いている。 水源の森基金事業は長引く低金利の中、基金の取崩がやむを得ない状況にあり、事業内容の見直しが必要である。 一方で、SDGsやカーボンニュートラルへの関心の高まりは、林業振興、緑の募金運動の積極的な展開の追い風となる。 | | | | | |
|----------------------------------|---|--|---------------------------|------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 改善に向けた取り組みの方向性 (R4~R8) | | 公益財団法人としての自覚の下に、事業の検証と見直しを行い、公益目的事業の効果的・効率的な推進を図るとともに、的確かつ安全な資産運用等による安定的な収益確保により、堅実な組織運営に努めていく。 | | | | | |
| 改善目標の区分(視点) | 目標達成に向けた具体的な取組戦略等 | 指標 | | 実績 | | 目標 | |
| | | | 単位 | H29 | R3 | R4 | R8 |
| 事業活動・住民サービス 〔計画性 公益性等〕 | ①林業の担い手確保のため、新規就業者確保と現場技能者の育成 | 「緑の雇用」現場技能者育成研修修了者数 | 人 | 43 | 61 | 61 | 61 |
| | | 総合育成研修受講者数 | 人 | — | 109 | 110 | 110 |
| | ②ワンヘルスの推進にも資する地域緑化活動の推進 | 緑の募金による緑化活動支援事業の助成団体数 | 団体 | 29 | 20 | 19 | 23 |
| | ③第9期及び第10期水源の森事業5ヵ年計画に沿った森林造成整備の推進 | 計画に掲げる森林造成整備に係る事業内容の着実な実施 | — | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 |
| 財務会計 〔経済性 効率性等〕 | ①低金利の債券市場において、運用資金が減少していく中、有価証券の的確な切り替え等による一定の運用利率の確保 | 運用利率 | % | 1.30 | 1.25 | 1.25 | 1.16 |
| | | ②緑の募金法に基づく緑の募金運動の推進による経常収支の改善 | 職場及び企業募金額 ※上段の()は募金総額 | 千円 | (66,719) 16,659 | (59,214) 14,189 | (70,000) 14,331 |
| | ③コスト削減を図り、安定した財政基盤の確立 | 正味財産(自己資本)比率 | % | 98.0 | 97.5 | 97.5 | 97.1 |
| 人件費率 | | % | 19.0 | 22.8 | 23.6 | 24.0 | |
| 内部管理 〔健全性等〕 | ①非常時等にも業務執行を確保するための規程の整備 | 事業継続計画の策定 | — | — | — | 検討 | 実施 |
| | | ②団体運営及び事業実施に必要な知識の確保 | 個人情報保護等に係る研修の実施 | 回/年 | 1 | 1 | 1 |